あなたの□りを□て□さい。□が□えますか□
□□、□□、□□、□□、そして□□。これらはどんな□き□ですか□
□□やテレビを□ると、まるで□□の□々が□□□□になり、ぐるぐると□□しながら□□□□にあるとでもいえるような□□にショックを□けます。なぜこのようなことになってしまったのでしょう□
そしてより□□なのは、どうやってこの□□を□することができるのかということです。

そういったあまりに□い□□を□にする□、□は□□の□□の□□を□つけ□すことができなくなります。しかし□いで□□を□うなら、□つかの□□が□てとれます。

□□ -
1970□□□□における□□□□と□□□□の□らかな□□の□、□□は□の□□□□□□を□し□めました。□□□□□□を□する□□□は、たとえ□々が□□と□なされるところにまで□□□□を□□したとしても、それが□□にとって□も□□を□える□□なのだと□□に□□しました。その□□とは、□□□にわたる□□な□□が□□□の□を□めることになるということを□は□□□に□っているので、□□を□□することにはならないだろうというものです。この□かな□□は□□によって□□も□されてきたにも□わらず、□□□に□ましく□えることから、□□□□きに□□も□じ□を□ぶ□□になっているのです。

□□□□□□□ **(Self-Concern)**-
□が□□に「□□の□□を□□する」ときに□□いがちなことは、□□がゼロサムゲーム□□□の□□が□□の□□になること□であるという□□です。つまり、□□が□□に□□とする□□にものを□ることは、□□として□□の□□なものを□うことになるということです。この□□の□□は、□□□□□の□う□□□□の□□とその□りを□う□□および□□□□の□□の□□な□いとして□□されています。

□□□□□□□□□□□□□□□□**(Need for Instant Gratification)**
□□が□□に□□を□ることを□□する□、□□の□□□□な□□と□□は、□□にさらされることになります。その□□は、そのような□□が□□□□に□□な□□を□くからです。□な□□が□□に□□を□ることとして□いていることから、□□と□□のバランスを□ろうとする□□は□□が□□□□に□るまで□ししかなされません。

□□□□□□□□□□□□□**(Belief that "Might is Right")**
□□□□に□は□□□□に□い□がルーールを□るという□えが□□する□り、□□がもっと□くなり□□はもっと□くなるという□□けで□く、□しい□□□□□の□いは、□□□□という□□による□システムの□□まで□きます。□□がいつまでも□□を□□することが□□に□える□□で、□□の□□□□な□□が、□□を□う□□□□□にいずれ□□をもたらすことになると□□が□していることから、この□□は□□□□に□□されていることではありません。

□□□**(Intolerance)** -
ある□が□□よりも□れていると□じている□り、□□を□□し□□の□□を□□に□□することは□□なことです。さらに□は、□□□□の□□を□える□□□□を□□する□□□があり、「□から□えられた□□□」と□じるものを□□する□にあらゆる□□□□な□□を□います。□かに、「□が□□している」と□われれば、その□□やその□□□□における□□に□がつくことは□しいといえます。

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□の□□を□えてみると、□ての□□の□□は、「□からする□□の□□によって、□は□びを□ることができるのだろうか□」という□□から□□を□る□□□にあるということが□らかになります。もしもその□□の□えが「YES」ならば、その□□をします。そして「NO」ならば、しません。これが□□における□□□の□□です。

この□□を□□できる□□の□□は、□□□□が□□を□にしているという□□を□□することであり、それは□□です。□くの□□をパラフレ―ズすると、□□に□□なことは「□□□を□するように、□□□の□□を□せよ」ということです。しかし、どうやってそんなことができるのでしょうか□
□□のところ、□□、□□、□、□□、そしてその□などは、□□□を□うのに□□□□しています。しかしそうする□には、□□がエゴを“□に□いて”その□□を□□□する□□があります。□くの□□が□□に□みて、□□したことですが、そのような□□□は□□を□□して□□することでは□□できません。また、“□□□”を□え□けて□しく□□させることも□□ません。□□□に□□が□□の□□□に□□しているエゴの□□から、□いを□□し□い、そして□□し□う□□へと□□する□には、□□□□□□□に□□することでしか□し□げることができません。□□□に□□できる□もよい□□は、□□□□に□づく□□プログラムに□□することです。□□における□□□□□に□するアプロ―チは、ずっとカバラの□□を□して□われてきました。

□□は、□□がこのように□□し□けるかぎり、□□も□□し□けるということです。そして□□□□は、□□は□□しながら□え□けるだろうと□っています。その□□とは、テクノロジ―に□する□□の□□が□□するにつれて、□□を□□する□□も□□に□□するためです。